

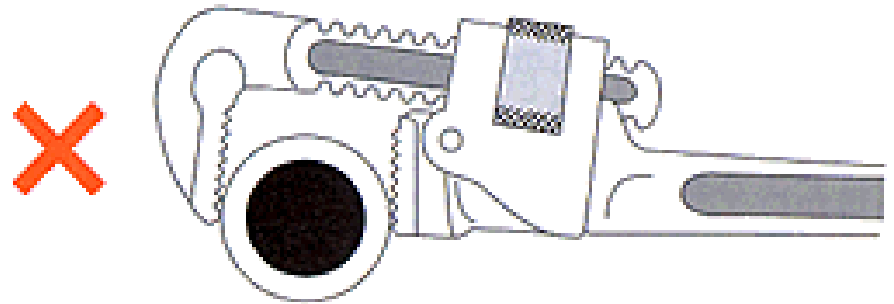
Ⅱ. 安全衛生情報の「見える化」

・作業手順書のイラスト・写真化例

表1(64頁参照)の範囲を超えた大きなパイプを挟んだり(図5)、また図6のように本体にパイプを差し込み、本体ハンドル部を長くして、過大な荷重を掛けたりしないで下さい。

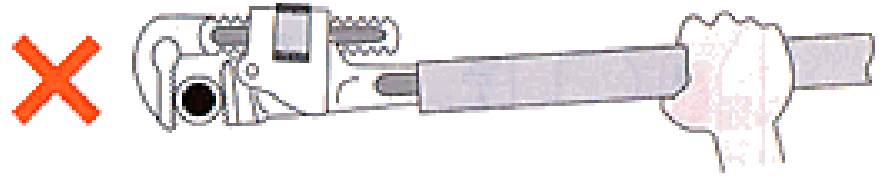
JIS B4606に、試験荷重が規定されていますので、参考として下さい。また、図7に示すようにパイプレンチを横に使うのも禁物です。

図5



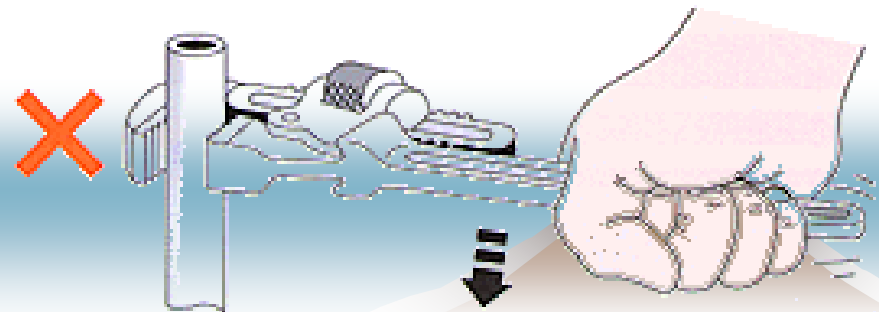
●大き過ぎるものを挟まない。

図6



●パイプをつないで無理な力を掛けない。

図7



Ⅱ. 安全衛生情報の「見える化」

- ・自動搬送設備の各操作盤の停止範囲例

